新企画

日帰り

～歴史ある「大磯迎賓館」にてランチをご賞味～

生活クラブスタッフ提案の旅
白岩 楓子企画

小田原にひっそりと佇む屋外型美術館「江之浦測候所」と日本情緒ある庭園と邸宅の「旧吉田茂邸」日帰り

江之浦測候所 現代美術作家の杉本博司氏が構想から竣工まで20年の歳月を費やし小田原に造り上げた屋外型美術館。敷地内には氏の蒐集品を中心とした古今東西の芸術作品を鑑賞する為のギャラリー、石舞台、光学硝子舞台、茶室、庭園、門、待合棟などが建っています。建物の素材には根府川石、小松石等の施設の近辺で採れるものを積極的に使用しています。「江之浦測候所」の由来は、杉本氏がアートの起源を古代に生きた人々が天空のうちにある自身の現在地を確認する作業に因ると定義した上で我々現代人もそのように人としての在り方の基本に立ち返ってみるべきであるという考え方からくるものとなっています。

県立大磯城山公園 旧三井財閥別荘跡地と旧吉田茂邸跡地を整備した都市公園です。旧三井別邸地区には豊かな自然の中に、日本情緒あふれる茶室や大磯町郷土資料館などが点在しています。また、旧吉田茂邸地区では2009年に元の建物が焼失した為再建された旧吉田茂邸(母屋)や焼失を免れた兜門や日本庭園などをご見学いただくことができます。

県立大磯城山公園

旧吉田茂邸

松永記念館
「電力王」と呼ばれた松永安左ヱ門(耳庵)氏が小田原へと居を移してから収集した古美術品を公開するために造られた施設です。敷地内では、茶室「葉雨庵」や、松永氏の居宅「老欅荘」などをご見学いただけます。また、庭園は平成19年2月「日本の歴史公園100選」に選ばれており、季節ごとに様々な花に彩られる空間となっています。

松永記念館

松永記念館　小田原

ご昼食
「大磯迎賓館」にて素材にこだわったイタリアンをご賞味
大磯迎賓館は大正元年に建てられた別荘です。国の登録有形文化財に指定されており、ツーバイフォー工法の住宅としては国内で最も古い時代の建築物となっています。

外観／イメージ

■添乗員／同行します　■食事／昼食1回　■交通機関／大型または中型または小型貸切観光バス(関東自動車、なの花交通 同等)　■集合場所／新宿センタービル前　■ご案内／※天候・道路状況により観光順序を入れ替える場合がございます。　※運行バス会社は変更となる場合がございます。
※昼食につきまして、相席となります。予めご了承ください。

冬至光遥拝隧道と光学硝子舞台　©小田原文化財団

旅行日	2024年5月16日(木)		
旅行代金	(お一人様) 28,000円	募集人員	20名様 (最少催行人員14名様)

新宿(9:00頃)➡●**県立大磯城山公園**(内閣総理大臣・吉田茂の邸宅を復元した建物をご見学)➡◎**「大磯迎賓館」にてイタリアンのランチ**➡◎**松永記念館**(「電力王」松永安左ヱ門が収集した古美術品を一般公開するために建設した施設)➡●**江之浦測候所**(完全予約制の杉本博司氏構想の複合アート施設)➡新宿(18:00頃)

コース番号:11-8020-0044